

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年7月25日

上場会社名 キーコーヒー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2594 URL <http://www.keycoffee.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 裕  
 問合せ先責任者(役職名) 財務部長 (氏名) 三上 武善 (TEL) 03-3433-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	16,654	3.5	938	41.1	1,019	31.6	636	26.1
28年3月期第1四半期	16,094	16.0	665	38.2	774	23.6	504	42.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 380百万円(△24.0%) 28年3月期第1四半期 500百万円(△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	28.62	—
28年3月期第1四半期	22.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	49,282	35,890	71.1
28年3月期	48,447	35,709	72.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 35,039百万円 28年3月期 34,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	0.1	1,300	23.3	1,560	13.6	1,000	33.0	44.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	22,689,000株	28年3月期	22,689,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	457,945株	28年3月期	457,945株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	22,231,055株	28年3月期1Q	22,681,055株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日までの3ヶ月間）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策の継続により緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国や資源国経済の減速、金融市場の不安定な動きの影響もあり、個人消費の回復までには至らず、加えて英国のEU離脱決定により市場リスク回避姿勢が強まるなど、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

コーヒー業界におきましては、業績に大きな影響を及ぼすコーヒー生豆相場は落ち着いておりますが、世界最大のコーヒー生産国であるブラジル生産地の気象及び品質に対する懸念により上昇傾向にあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づいて、「ブランド強化」、「収益力の強化」及び「グループ連携強化」を3つの柱とし、新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発やお取引先との絆を深める企画提案型の営業活動を継続して行いました。

また、世界的なコーヒー関連事業における非営利の研究機関である「World Coffee Research」（本拠：米国 テキサス州）の活動に、日本初のゴールドメンバーとして参画し、高品質コーヒーの安定供給、生産者の経済的、社会的な生活向上と未来に向けたコーヒー産業の発展などの支援に協力していくことといたしました。

業績につきましては、コーヒー関連事業が好調だったことにより、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、166億54百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は9億38百万円（同41.1%増）、経常利益は10億19百万円（同31.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億36百万円（同26.1%増）となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

#### (コーヒー関連事業)

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」、世界各地の選りすぐりのコーヒー農園で生産されたスペシャルティコーヒーなど、差別性のある付加価値の高い商品の拡販活動を推進しました。また、お取引先への支援策として、世界3大カレーによる「プレミアムワールドカレーフェア」を実施するとともに、フルーティで彩り豊かな「シュクランジュ フルーツケーキ」などの新商品を発売し、ラインアップの充実を図りました。

家庭用市場では、産地と品質を厳選したシングルオリジンコーヒー「プライムオリジンズ」にLP（ライブパック）豆製品シリーズを発売、また、機械も電源も不要で簡単にエスプレッソタイプのコーヒーが作れる革新的商品「PUSH PRESSO（押すプレス）」を発売し、認知促進、拡販活動に努めました。主力の「グラントテイスト」シリーズ及び簡易抽出コーヒー「ドリップオン」シリーズは、配荷拠点の拡大と積極的な販促活動を実施した結果、両分野とも前年を上回る実績となりました。

ギフト商品では、素材や味わいにこだわり、「氷温熟成珈琲アイスコーヒーギフト」など人気の飲料ギフトを中心に全35アイテムをラインアップしました。

カフェ開業支援の施策として取組んでおります、さまざまな立地条件に適応するパッケージカフェ「KEY'S CAFE」は3店舗出店し、導入店舗総数は41店舗になりました。

業績につきましては、積極的な営業活動が奏効し、業務用、家庭用、原料用の各市場とも売上が前年を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は143億69百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は9億66百万円（同33.6%増）となりました。

(飲食関連事業)

株式会社イタリアントマトでは、食物繊維を豊富に含む食材として注目されているチアシードを使用した「ヨーグルトドリンクフェア」や、栄養価の高いアーモンドを使用した「春のトマトクリームとバジルソースの2種の Pasta」の販売など、季節と健康をテーマとしたメニューフェアを実施しました。また、「挑戦・革新・団結」をスローガンに、将来に向けた基盤作りを推し進める方針の下、台湾に「ケーキショップ 台北統一時代店」を出店、一方で収益性改善に向け不採算店の閉鎖を進め、店舗数は264店（直営店57店、F C店207店）となりました。

業績につきましては、株式会社イタリアントマトにおいて不採算店の整理を進めたことなどにより売上面では前年を下回る結果となりましたが、利益面では主要コストである原材料費及び人件費、その他販管費の効率的な運用により改善が図れました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は12億9百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は3百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

(その他)

その他事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は10億75百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は1億8百万円（同13.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べて8億35百万円増加し、492億82百万円となりました。

流動資産は13億50百万円増加し、272億57百万円となりました。これは受取手形及び売掛金の増加（8億14百万円増）、有価証券の増加（7億円増）などによるものであります。

固定資産は5億15百万円減少し、220億25百万円となりました。償却が進んだことにより、有形固定資産は1億円、無形固定資産は10百万円それぞれ減少しました。投資その他の資産は投資有価証券の減少（3億91百万円減）などにより4億3百万円減少しました。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて6億54百万円増加し、133億92百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて9億53百万円増加し、110億7百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加（12億32百万円増）などによるものであります。

固定負債は2億99百万円減少し、23億85百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて1億80百万円増加し、358億90百万円となりました。これは利益剰余金の増加（4億36百万円増）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、現時点において平成28年5月13日に公表致しました業績予想の変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これによる損益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,803	6,076
受取手形及び売掛金	10,825	11,639
有価証券	300	1,000
商品及び製品	1,649	1,778
仕掛品	224	211
原材料及び貯蔵品	6,088	5,691
繰延税金資産	311	172
その他	731	704
貸倒引当金	△28	△18
流動資産合計	25,906	27,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,447	5,421
機械装置及び運搬具（純額）	2,169	2,076
土地	6,334	6,334
その他（純額）	658	677
有形固定資産合計	14,610	14,509
無形固定資産		
のれん	281	267
その他	292	295
無形固定資産合計	574	563
投資その他の資産		
投資有価証券	5,461	5,070
長期貸付金	106	99
繰延税金資産	38	47
差入保証金	1,485	1,476
その他	481	462
貸倒引当金	△216	△203
投資その他の資産合計	7,356	6,952
固定資産合計	22,540	22,025
資産合計	48,447	49,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,153	7,385
短期借入金	47	47
未払金	1,708	1,521
未払法人税等	571	252
賞与引当金	572	315
その他の引当金	2	2
その他	997	1,482
流動負債合計	10,053	11,007
固定負債		
長期借入金	100	88
繰延税金負債	170	82
再評価に係る繰延税金負債	478	478
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,038	996
資産除去債務	311	252
その他	582	484
固定負債合計	2,684	2,385
負債合計	12,737	13,392
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,628	4,628
資本剰余金	5,040	5,040
利益剰余金	28,916	29,352
自己株式	△891	△891
株主資本合計	37,693	38,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	860	615
土地再評価差額金	△3,545	△3,545
為替換算調整勘定	△4	△6
退職給付に係る調整累計額	△142	△153
その他の包括利益累計額合計	△2,831	△3,090
非支配株主持分	847	850
純資産合計	35,709	35,890
負債純資産合計	48,447	49,282



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	16,094	16,654
売上原価	11,776	11,909
売上総利益	4,317	4,745
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	266	278
荷造運搬費	367	391
車両費	122	119
貸倒引当金繰入額	23	—
役員報酬	83	78
給料及び賞与	1,300	1,316
賞与引当金繰入額	165	224
退職給付費用	5	46
福利厚生費	218	221
賃借料	305	298
減価償却費	89	85
消耗品費	83	85
研究開発費	46	56
その他	573	602
販売費及び一般管理費合計	3,651	3,806
営業利益	665	938
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	84	33
持分法による投資利益	15	19
受取家賃	11	10
その他	11	30
営業外収益合計	126	95
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	6	10
賃貸借契約解約損	7	—
その他	1	2
営業外費用合計	17	14
経常利益	774	1,019

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	20	—
受取保険金	18	—
特別利益合計	38	—
<b>特別損失</b>		
持分変動損失	—	1
災害による損失	—	4
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	812	1,012
法人税、住民税及び事業税	186	215
法人税等調整額	109	154
法人税等合計	296	370
<b>四半期純利益</b>	<b>516</b>	<b>642</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	504	636

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	516	642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△247
土地再評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整額	△24	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△1
その他の包括利益合計	△15	△261
四半期包括利益	500	380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490	377
非支配株主に係る四半期包括利益	10	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	812	1,012
減価償却費	316	284
投資有価証券売却損益(△は益)	△20	-
災害損失	-	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23	△22
賞与引当金の増減額(△は減少)	△279	△256
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△62	△39
受取利息及び受取配当金	△87	△34
支払利息	2	1
持分法による投資損益(△は益)	△15	△19
持分変動損益(△は益)	-	1
受取保険金	△18	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,946	△814
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,126	280
未収消費税等の増減額(△は増加)	△267	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	7,297	1,232
未払金の増減額(△は減少)	△63	△181
未払消費税等の増減額(△は減少)	△255	236
その他	228	234
小計	△462	1,863
利息及び配当金の受取額	83	30
持分法適用会社からの配当金の受取額	13	17
利息の支払額	△2	△2
保険金の受取額	18	-
災害損失の支払額	-	△4
法人税等の支払額	△116	△523
営業活動によるキャッシュ・フロー	△465	1,382
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,000	-
有価証券の取得による支出	△300	△1,000
有価証券の償還による収入	3,000	300
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	107	48
有形固定資産の取得による支出	△349	△193
無形固定資産の取得による支出	△1	△16
その他	8	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,462	△891

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	85	-
短期借入金の返済による支出	△30	-
長期借入れによる収入	100	-
長期借入金の返済による支出	△10	△11
配当金の支払額	△162	△179
その他	△25	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△43	△214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,949	273
現金及び現金同等物の期首残高	8,467	5,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,416	6,076

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,668	1,292	14,961	1,132	16,094	—	16,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	1	121	348	470	△470	—
計	13,788	1,294	15,083	1,481	16,565	△470	16,094
セグメント利益又は損失 (△)	723	△17	706	95	801	△135	665

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業、通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △1億35百万円には、セグメント間取引消去 △6百万円、棚卸資産の調整額 16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1億46百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コーヒー 関連事業	飲食 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,369	1,209	15,579	1,075	16,654	—	16,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	10	128	341	469	△469	—
計	14,487	1,219	15,707	1,417	17,124	△469	16,654
セグメント利益	966	3	969	108	1,078	△139	938

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業、通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。
2. セグメント利益の調整額 △1億39百万円には、セグメント間取引消去 △11百万円、棚卸資産の調整額 19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △1億46百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。